

どうすれば違法駐輪がなくなるのか ～ 駐輪場の有効活用～

a3p21035 春日 重貴

本日の流れ

- 
1. 自転車の現状
 2. 違法駐輪の現在の状況
 3. 駐輪場の有効活用
 4. 駐輪場の配置による利用者のコントロール
 5. 今後の課題

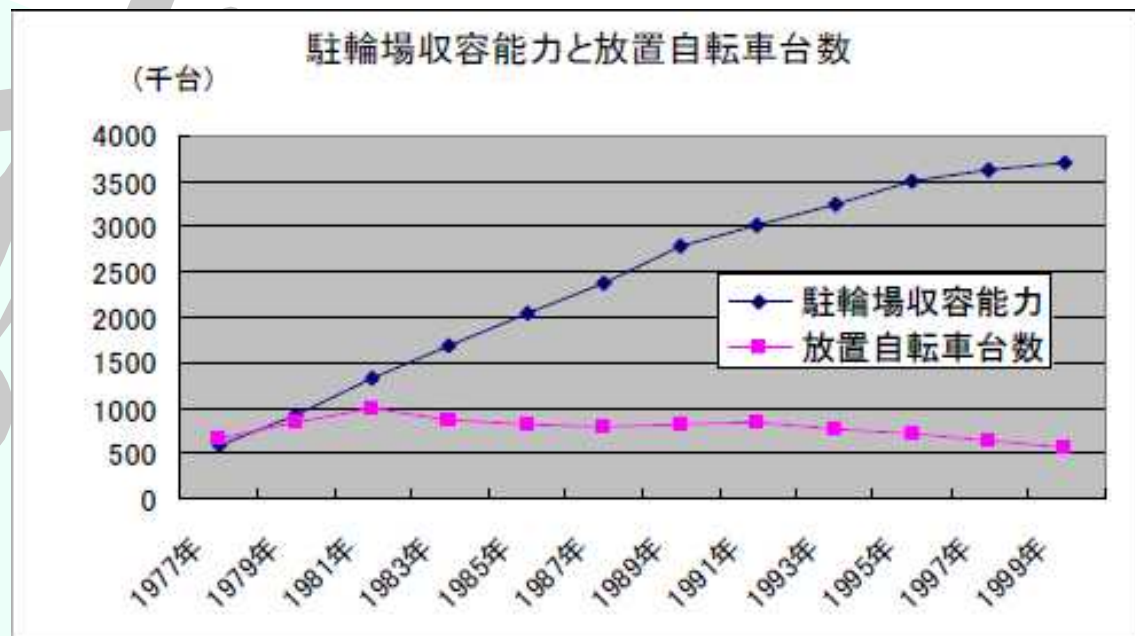
自転車現状

自転車の所有率

都道府県	保有台数 (千台)	人口 (千人)	所有率 (%)
茨城	1,490	2,994	49.7
栃木	1,079	2,005	53.8
群馬	908	2,023	44.8
埼玉	4,961	6,954	71.3
千葉	3,750	5,978	62.7
東京	8,358	11,996	69.6
神奈川	4,571	8,547	53.4
山梨	303	884	34.2

違法駐輪の現在の状況

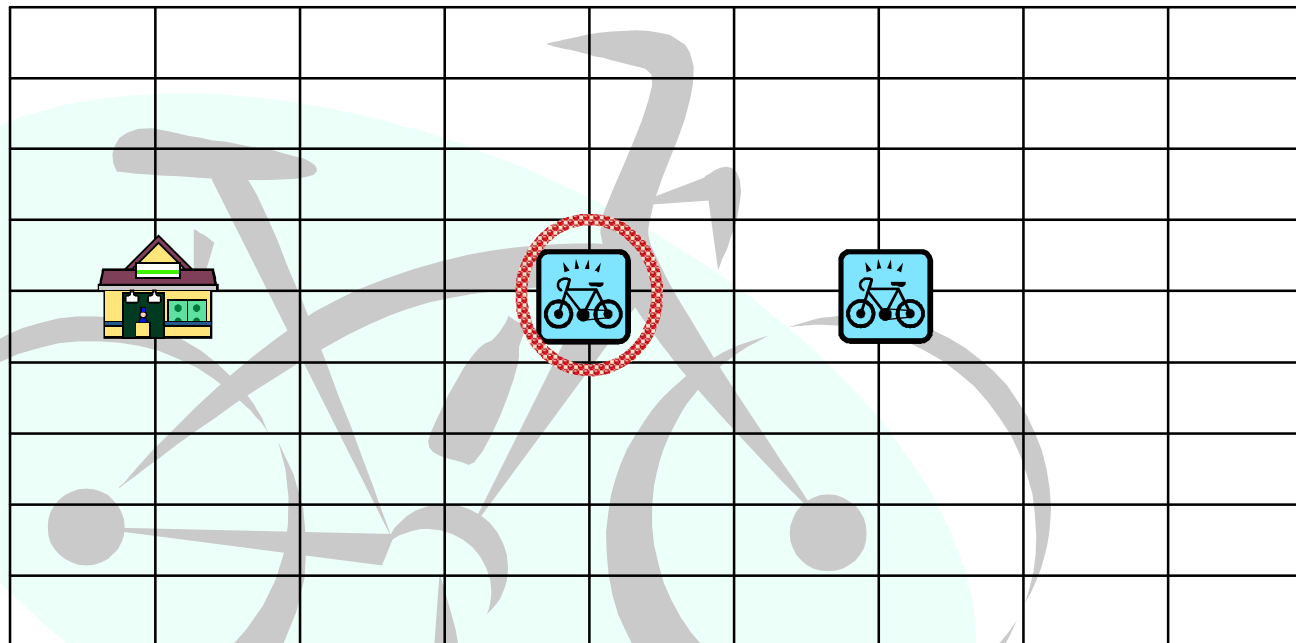
現在放置自転車は全国で約56万台
この20年で駐輪場収容能力が6倍以上になったのに対し、
放置自転車台数はピーク時の約57%にしか減っていない。



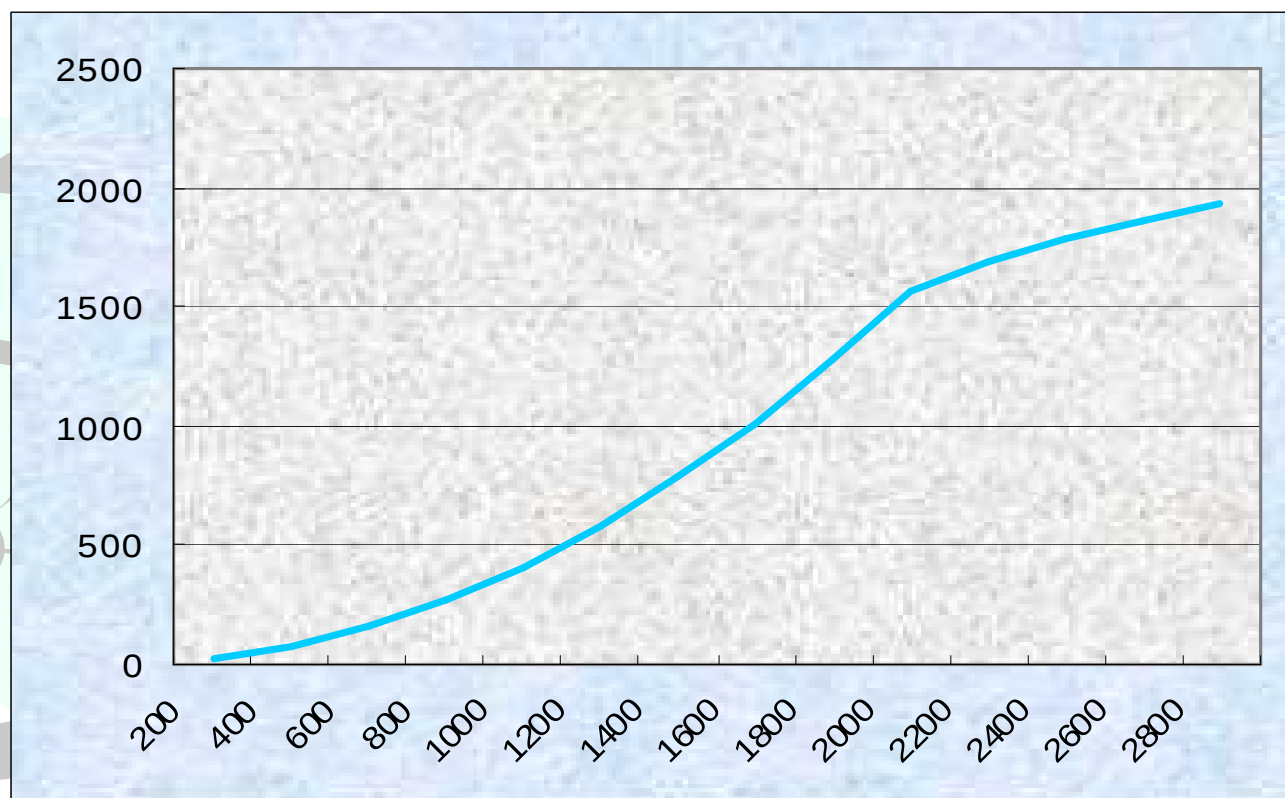
駐輪場の有効活用

- 駐輪場の値下げ
川崎市・・・駐輪場の値下げにより違法駐輪3割減
- 短時間の利用は無料
相模大野・・・2時間まで無料
- 駐輪場の配置の工夫

駐輪場の配置による利用者のコントロール



駅からの距離による利用者数の変化



今後の課題

- 駐輪場を2ヶ所、複数にした場合の変化
- 料金も考えた駐輪場の配置